

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん検診受診向上指導事業
全国がん検診従事者研修会 プログラム

H26年5月8日(木)10:00~16:00

東京都中央区築地5-1-1 独立行政法人国立がん研究センター国際研究交流会館 3階国際会議場

10:00-10:05	国立がん研究センターがん対策情報センター長より挨拶 (開会の挨拶)	若尾 文彦(国立がん研究センター)
10:05-10:10	厚生労働省より挨拶	藤下 真奈美(厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課)
10:10-10:25	この講習会の目的について 司会・講師の紹介	斎藤 博(国立がん研究センター)
【理論】		
10:25-11:00	(1)がん検診の有効性評価について ~アセスメントの基礎 (35分*)	濱島 ちさと(国立がん研究センター)
11:00-11:35	(2)がん検診の精度管理について ~マネジメントの基礎 (35分*) ・検診の種類(対策型/任意型、地域/職域、個別検診/集団検診) ・検診精度管理とは ・検診精度管理の指標 (厚生労働省でオーソライズされるまでの背景など) ・精度管理における都道府県/市区町村/検診機関の役割	中山 富雄(大阪府立病院機構大阪府立成人病センター)
11:35-12:00	(3)各精度管理指標(チェックリスト・プロセス指標)の読み方 (25分*) ・チェックリストの構成/プロセス指標値の解釈	青木 大輔(慶應義塾大学医学部)
12:00-12:30	(4)質疑応答 (30分)	
12:30-13:30	<昼食休憩(60分)>	
【実践】		
13:30-15:10	(5)都道府県にお願いしたい活動について (100分) ①国立がん研究センターが提示する精度管理ツールの活用 (10分*) ・各種調査の目的/方法/内容/公表方法、年間スケジュール ・各種教育ツール ・行政担当者との相互コミュニケーションツール(開設目的/利用方法) ・その他の情報提供 ②精度管理評価の公開 (15分*) ③日常業務でご留意いただきたい点(15分*) ・地域保健・健康増進事業報告を行う上での注意点(子宮頸がん) ④受診率の計測について (30分*) ⑤関係機関(医師会、市区町村、検診機関等)との連携体制の構築 (30分*) ・ケーススタディ(事例紹介)	事務局 (国立がん研究センター) 中山 富雄(大阪府立病院機構大阪府立成人病センター) 青木 大輔(慶應義塾大学医学部) 松田 一夫(福井県健康管理協会県民健康センター) 事務局 (国立がん研究センター)
15:10-15:50	(6)質疑応答・全体討論 (40分) ・過去のQ&A紹介など	斎藤 博(国立がん研究センター)
15:50-16:00	(7)閉会の挨拶 (10分)	斎藤 博(国立がん研究センター)

* 各講演時間には質疑応答(5分)が含まれます